

カセットプレーヤー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます
電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
警告 火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

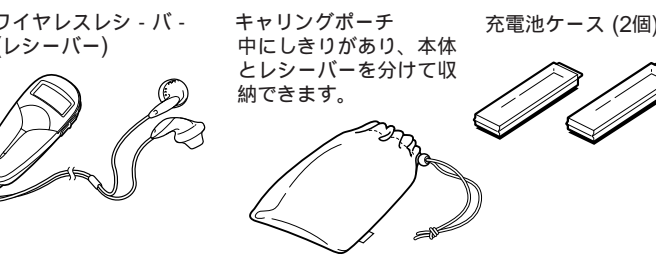
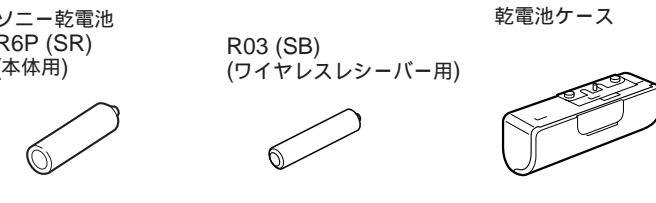
WM-WE1 WALKMAN

WALKMANはソニー株式会社の登録商標です。
WALKMAN is a registered trademark of Sony Corporation.
Sony Corporation ©1997 Printed in Japan

主な特長

- コードすっきりワイヤレスウォークマン。
- 本体は充電式電池と乾電池の併用で約30時間の長時間再生ができる、スタミナタイプ。
- ワイヤレスレーザーはアルカリ乾電池で約28時間使用可能。
- カセットふたがしっかり閉まる、ダブルロック機構。

付属品を確かめる



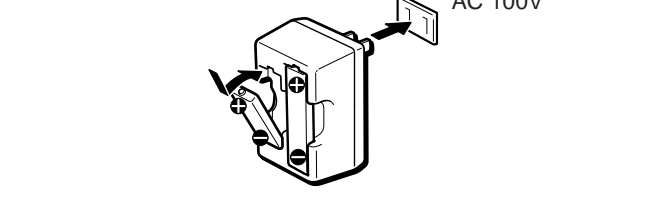
取扱説明書
ソニーご相談窓口のご案内
保証書

準備する

本体用、ワイヤレスレーザー用、それぞれの電源として、充電式ニカド電池(充電式電池)、乾電池のいずれかの用意をします。
お買い上げ時には、まず充電式電池を充電してください。

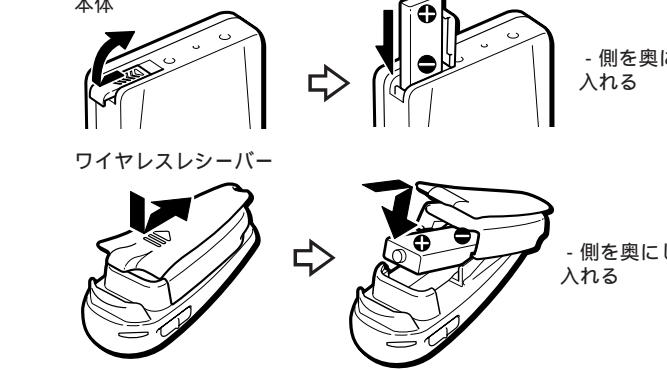
1 充電する

レーザー用と本体用、両方同時では約3時間、1本ずつなら約2時間で充電完了です。



充電式電池は約300回充電できます

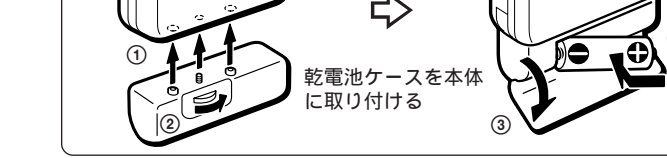
2 充電式電池を入れる



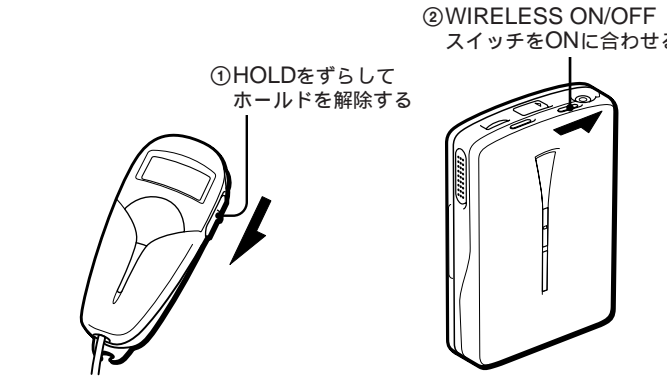
・ワイヤレスレーザーに乾電池を入れる場合も同様に - 側を奥にして入れます。

本体を乾電池で使うときは

・本体は充電式電池と一緒に使うと長時間再生ができます。



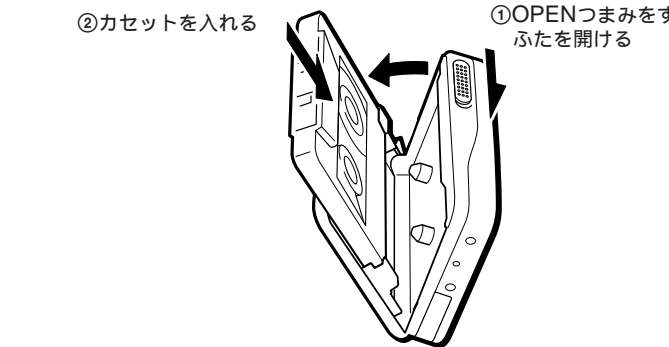
3 ワイヤレスレーザーを動かせる



テープを聞く

TYPE I (ノーマル)、TYPE II (ハイポジション)、TYPE IV (メタル)のテープを自動的に判別し、再生します(オートテープセクター機能)。

1 カセットを入れる



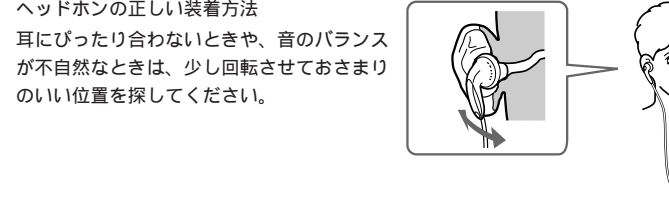
! テープ動作中はOPENつまみをずらしてもふたは開きません。

2 再生する

レーザーで操作します。



- ・本体のWIRELESS ON/OFFスイッチがONになっていることを確認してください。
- ・レーザーは、本体から約1m以内の距離でお使いください。
- ・レーザー使用時は、本体のVOLつまみは動かさず。



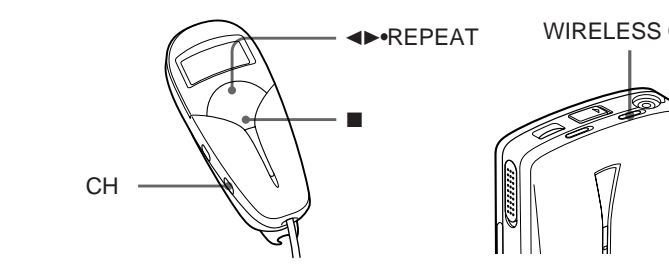
その他のテープ操作

操作	押すボタン	動作の確認音とリモコン表示
再生面の切り換え	再生中に◀▶REPEAT	ふた側の面スタート ビ 本体側の面スタート ビビ
停止	■	ビ
早送り	停止中にFF・AMS	—
巻き戻し	停止中にREW・AMS	—
聞いている曲をくり返し再生(1曲リビート)	再生中に◀▶REPEATを2秒以上	ボタンを押したときと巻き戻し中にビビビ(巻き戻し中はくり返す) 「REP」表示が点灯し、巻き戻し中は「REP」表示が点滅。
早送りして反対面を再生(スキップリバース)	停止中にFF・AMSを2秒以上	ビ ビ、ビ、...
巻き戻して最初から再生(オートプレイ)	停止中にREW・AMSを2秒以上	ビ ビビ、ビビ、...

上記以外のテープ操作は、「テープを聞く - 応用」をご覧ください。

▶テープを聞く-応用

ワイヤレスレーザーの使いかた



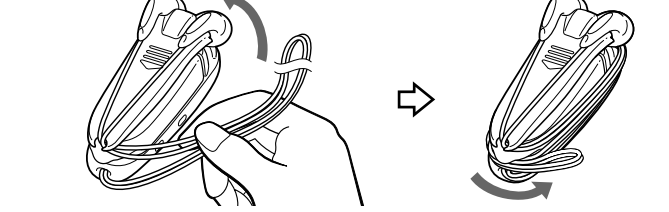
レーザーで聞くときは
本体のWIRELESS ON/OFFスイッチONをにしてから、レーザーの◀▶REPEATボタンを押します。
レーザーの電源が入って、音が聞こえてきます。いったんレーザーの電源が入ると、本体でも操作することができます。

再生音が混信したら
レーザーのCHボタンを2秒以上押したままにします。表示窓に「CH-2」または「CH-1」が点滅し、音声チャンネルが切り換わります。

レーザーの電源について
テープが止まると、5秒後にレーザーの電源が自動的に切れます。また、レーザーの■ボタンを4秒以上押したままにしても切ることができます。

□ しまう

使い終わったら、ヘッドホンのコードをワイヤレスレーザーに巻きつけます。



- 1 ヘッドホンをクリップ上部の溝に合わせてかける。
- 2 コードをクリップ下部の溝にかけ、図のようにレーザーに巻きつける。
- 3 巻きつけたコードの端をレーザー下部にかけてとめる。

コードがからまっていたりよじれたりしていたらからまりやよじれを直してから巻きつけてください。

長い間テープを聞かないときは
本体のWIRELESS ON/OFFスイッチをOFFに合わせてください。むだな電池の消耗を防ぎます。

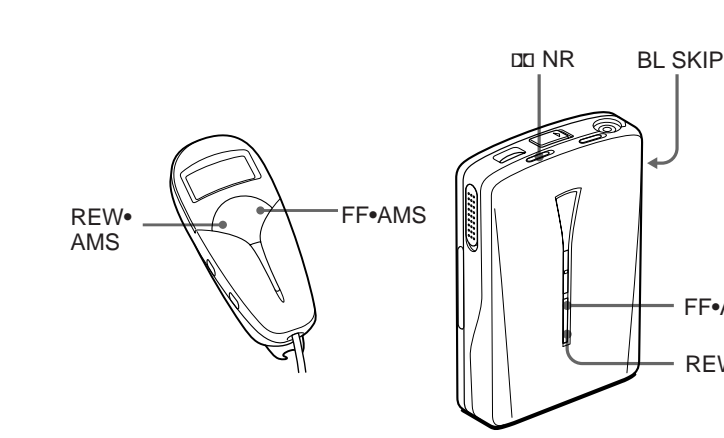
テープを聞くときのご注意

カセットふたが閉まらないときは、OPENつまみをずらしてください

無理に閉めようとするとツメが変形することがあります。以下の手順で閉めてください。



いろいろな聞きかたをする



□ 好きな曲を頭出しする(オートミュージックセンサー)

再生中にFF・AMSまたはREW・AMSを、とばしたい曲の数だけ押します。最大3曲までとばすことができます。

操作	押すボタン	動作の確認音とリモコン表示
早送りして何曲か*先の曲を再生	再生中にFF・AMSをとばしたい曲数押す	ビ あと3曲: ビッピービービー、... あと2曲: ビッピービー、... あと1曲: ビッピー、... 「AMS」と「FF」表示が交互に点灯し、とばす曲数が点灯。
巻き戻して何曲か*前の曲を再生	再生中にREW・AMSをとばしたい曲数押す	ビ あと2曲: ビッピービービー、... あと1曲: ビッピービー、... この曲: ビッピー、... 「AMS」と「REW」表示が交互に点灯し、とばす曲数が点灯。

*3曲先、2曲前までとばすことができます。

AMS、1曲リビートが正しく動作しないことがあります
AMS(オートミュージックセンサー)や1曲リビートでは曲間の4秒以上のあき(無音部分)を見つけて頭出しをしています。あきが4秒未満のときや曲間に雑音があるとき、曲の直前や直後にボタンを押したときは、頭出しができないことがあります。
また、曲中に音の小さい部分や長い無音部分があると、そこで頭出しをすることがあります。

□ テープ走行のしかたを選ぶ(テープの走行方法とブランクスキップ)

本体側面の▶◀BL SKIPスイッチを使います。両面をくり返し再生するときに、曲間の長いあきをとばして次の曲の頭出しをします(ブランクスキップ)。

操作	▶◀BL SKIPスイッチの位置	動作の確認音とリモコン表示
両面をくり返し再生(長いあきをとばす)	◀ON	あきをとばすときに、ビビビ、ビビビ、... 「SKIP」表示が点滅
両面を1回再生*	▶OFF	—

* 本体側の面から始めたときは、本体側の面のみを再生します。

ブランクスキップが正しく動作しないことがあります
ブランクスキップでは曲間に12秒以上のあきを見つくと、早送りして次の曲を再生しています。録音した機器によっては曲間のあきが完全無音部分にならないために、ブランクスキップが動作しないことがあります。また、小さい音が長く続く部分があると、曲の途中でも早送りすることがあります。その場合は、▶◀BL SKIPスイッチを▶OFFにしてください。

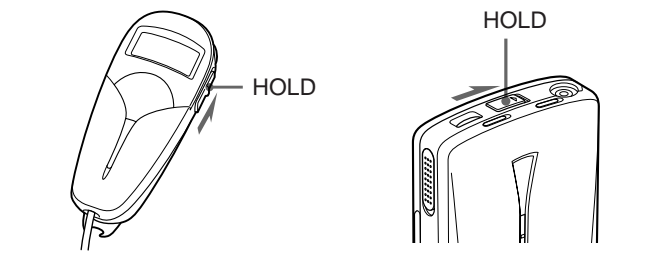
□ ドルビー® B NRで録音したテープを聞く

本体上面のNRスイッチをONにします。録音の特性にあわせた再生ができます。ドルビーB NRを使わずに録音したテープの場合にはOFFにします。

*ドルビーノイズリダクションはドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー、DOLBY及びダブルD記号NRはドルビーラポラトリーズライセンスコーポレーションの商標です。

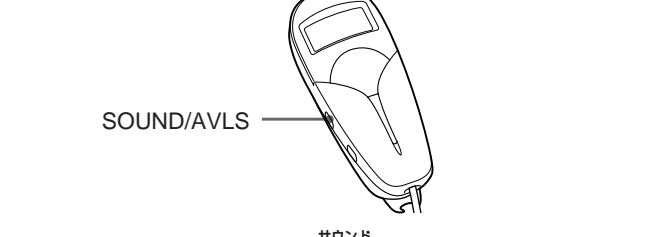
▶その他の機能を使う

誤操作を防ぐ(ホールド機能)



本体ではHOLDスイッチを▶の方向にずらして、本体の誤操作を防ぎます。レーザーではHOLDスイッチを▶の方向にずらして、レーザーの誤操作を防ぎます。

好みの音に調節する



□ 低音を強調する(SOUND)
レーザーのSOUND/AVLSボタンを短く押します。押すごとに次のように切り換わります。



GRV(グループ)にしたときに音がひずんだように聞こえる曲では、MB(メガベース)または表示なしにしてお聞きください。

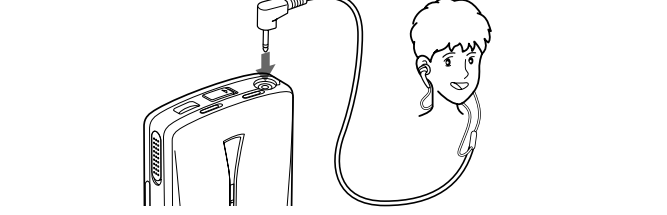
□ 音もれを抑え耳にやさしい音にする(AVLS オート・ボリューム・リミッター・システム 快適音量)

レーザーのSOUND/AVLSボタンを2秒以上押して、表示窓に「◎」を表示させます。
AVLS使用中に、低音が強調された曲で音が波打つように聞こえるときは、音量を下げてください。

AVLSを解除するには
上記と同じ操作をし、「◎」表示を消します。

SOUND、AVLSの設定はレーザーの電池を交換するまで記憶されています
電池を交換すると、解除されます。

別売りのヘッドホンで聞く



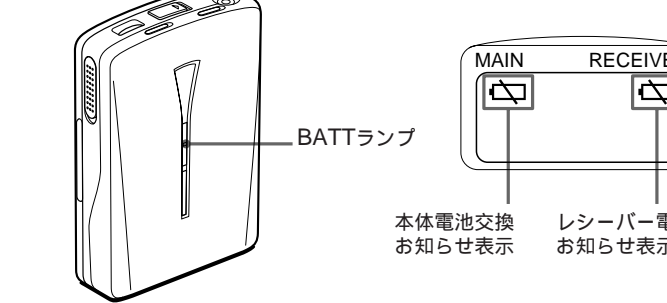
別売りのヘッドホン、本体の○(ヘッドホン)ジャックにさし込みます。

- ご注意
- ・別売りのヘッドホンを使っている間は、ワイヤレスレーザーでは操作することも聞くこともできません。
 - ・別売りのヘッドホンではSOUNDやAVLSは使えません。

▶電源

乾電池・充電式電池の取り替え時期は

本体の電池が消耗すると、本体前面のBATTランプが消え、レーザーの表示窓の◎表示(MAIN)が点滅し、テープ走行が不安定になったり、雑音が多くなったあと、自動的にテープは停止します。また、レーザーの電池が消耗すると◎表示(RECEIVER)が点滅します。
乾電池は新しいものと交換し、充電式電池は充電しなおしてください。
乾電池は持続時間の長いアルカリ乾電池の使用をおすすめします。



本体の電池持続時間(テープ再生時)	(EIAJ)*
使用電池	ワイヤレスレーザー使用時 別売りのヘッドホン使用時
充電式ニカド電池NC-6WM (100%充電にて)	約3時間 約8時間
ソニーアルカリ乾電池LR6 (WM)	約24時間 約26時間
充電式ニカド電池とソニーアルカリ乾電池の併用	約30時間 約32時間
ソニー乾電池R6P (SR)	約6時間 約6時間

レーザーの電池持続時間	(EIAJ)*
使用電池	テープ再生時
充電式ニカド電池NC-4WM (100%充電にて)	約13時間
ソニーアルカリ乾電池LR03 (SG)	約28時間
ソニー乾電池R03 (SB)	約13時間

*EIAJ(日本電子機械工業会)規格による測定値です。

ご注意
・電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

▶その他

お手入れ

よい音でテープを聞くために
10時間程度使ったら、別売りのクリーニングテープ(CHK-1)でヘッド、キャプスタン、ピンチローラーをきれいにしてください。

クリーニングテープは指定のものをお使いください
他のクリーニングテープを使うと故障の原因となることがあります。

本体表面が汚れたときは
水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきます。シンナーやベンジン、アルコールは表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

使用上のご注意

充電・充電式電池について

- お買い上げ時や長い間使わなかった充電式電池は、持続時間が短いことがあります。これは電池の特性によるもので、数回使えば充分充電されるようになります。
- 充電が終わったら、早めに充電器をコンセントから抜いてください。長時間差したままにすると、電池の性能を低下させることがあります。
- 充電中は充電器や充電式電池が熱くなりますが、危険はありません。
- 充電式電池を持ち運ぶときは、付属の充電ケースに入れてください。ケースに入れずに、キーホルダーなどの金属類と一緒にポケットなどに入れると、電池の＋と－がショートして危険です。

日本国内での充電式電池の廃棄について

このマークはニカド電池のリサイクルマークです。

Ni-Cd
この製品は、ニカド電池を使用しています。ニカド電池はリサイクルできる貴重な資源です。ニカド電池の交換および、ご使用済みの製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってニカド電池リサイクル協力店へご持参ください。

海外での充電式電池の廃棄について

各国での法規制にしたがって廃棄してください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- ヘッドホンのコードを強く引っばらないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 温度が非常に高いところ（60　以上）。
 - 直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
 - 窓を閉めきった自動車内（特に夏季）。
 - 風呂場など湿気の多いところ。
 - 磁石、スピーカー、テレビなど磁気を帯びたものの近く。
 - ほこりの多いところ。
- 湿度が高いところ（40　以上）や低いところ（0　以下）では液晶表示が見にくくなったり、表示の変わりがたがゆっくりになることがあります。常温になればもとに戻ります。
- 長い間本機を使わなかったときは、お使いになる前に数分間再生状態にして空回ししてください。
- 長時間テープについて
 - 90分をこえるテープは非常に薄く伸びやすいので、こきざみな走行、停止、早送り、巻き戻しなどを繰り返さないでください。テープが機械に巻き込まれる場合があります。

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンは、音量を上げすぎると音が外に漏れます。音量を上げすぎて、まわりの人の迷惑にならないように気を付けましょう。
雑音の多いところでは音量を上げてしまいがちですが、ヘッドホンで聞くときはいつも呼びかけられて返事ができるくらいの音量を目安にしてください。

ワイヤレスレーザーについて

本体とワイヤレスレーザーの間では次のようなやりとりをしています。

(1)レーザーから本体へ操作指示を送る
(2)本体からレーザーへ音と動作情報を送る
電波でやりとりしていますので、ワイヤレスレーザーを使う際には次のことにご注意ください。

- 飛行機内では、通信電波などを乱すおそれがありますのでコード付きヘッドホンでお聞きください。（本体にコード付きのヘッドホンをつなぐとレーザーは使えなくなります。）
- 金属物に近づけないでください。また、金属ラベルのテープは使わないでください。受信の感度が悪くなり、雑音が入ったり、音が悪くなったりします。
- 本体の上にレーザーをのせないでください。受信状態が悪くなる場合があります。
- 本体とレーザーは約1m以内の距離でお使いください。
- 次のような所では、受信状態が悪くなる場合がありますので、本体とレーザーを近づけてお使いください。
 - コンピューター、ワープロ周辺の電気ノイズの大きい所。
 - テレビ塔、ラジオ塔の近くなど電波の強い所。
 - 車内、電車内。
 - ラジオやワイヤレスウォークマンを聞いている人の近く。
- レーザーのコードは束ねずに、延ばしてお使いください。
- 受信状態が悪いときは、本体の向きを変えてみてください。
- 雑音の多いところでは、液晶表示が安定しないことがあります。そのようなときは、本体やレーザーの向きを変えてみてください。
- 受信状態が悪く、「-----」表示が10分以上続く、レーザーの電源は自動的に切れます。その前に電源を切るには、レーザーの■ボタンを4秒以上押します。本体の■ボタンも押してテープを止めてください。

付属のワイヤレスレーザーは本機専用です。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。その際、必ず本体とレーザーの両方をお持ちください。

<div> <p>ワールドモデルをお買い上げのお客様へ</p> <p>海外では保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にご相談ください。</p> </div>	
故障かな？	

故障とお考えになる前に、次のような点をご確認ください。

症状	原因	処置
カセットがだが開かない	再生中にOPENつまみをずらした	テープを止めてからOPENつまみをずらす
	再生中に電源をはずしたり電池が消耗してしまった	電源を入れ直し、消耗した電池は新しいものと交換する
雑音が入ることがある	本機の近くで携帯電話などの電波を発する機器を使用している	携帯電話などから離れて使用する
テープ再生中に勝手に早送りしてしまう	ブランクスキップが働いている	⏮ ・ ⏭ BL SKIPスイッチを ON にする
音量が大きくなるない	AVLSが働いている	SOUND/AVLSスイッチを2秒以上押しして表示窓の「 ☺ 」を消す
	レーザーのコードがよじれたりからまったりして短くなっている	コードをのぼす（コードがアンテナになっています）
ワイヤレスレーザー使用時に雑音が多い	金属物の近くにある	金属物から離す
液晶表示が不安定（「 --- 」がでる）	電池が消耗している	充電式電池は充電し、乾電池は交換する
	本体とレーザーが離れすぎている	近づける（約1m以内に）
	他のワイヤレスウォークマンと混信している	CHボタンを2秒以上押してチャンネルを切り換える
	本体のWIRELESS ON/OFFスイッチがOFFになっている	WIRELESS ON/OFFスイッチをONにする

レーザーで操作できない	本体に別売りのコード付きヘッドホンをつないでいる	別売りのコード付きヘッドホンを抜く
レーザーで受信できない [*]	本体にカセットテープが入っていない	カセットテープを入れる
	レーザーのホールド機能が働いている	レーザーのHOLDスイッチを矢印と反対側にする
	電池が消耗している	充電式電池は充電し、乾電池は交換する
	他のワイヤレスウォークマンと混信している	他のワイヤレスウォークマンから離れて使用する

本体で操作してもレーザーから音が出ない

レーザーの電源が切れている（レーザーは、レーザーのボタンを押すことで電源が入るようになってます）

本体、レーザーの電池を交換しても操作できない	—	電池をいったん取り出し、約15秒以上たってから入れ直す
本体を乾電池で使おうとしても操作できない	消耗した充電式電池が入っている	充電式電池を充電し直すか、取り出してから乾電池を取り付ける

^{*} 上記の処置を行ってもレーザーで操作できない場合は本体が何らかの原因によりレーザーからの命令を認識できない状態になっています。以下の手順を行って本体にレーザーの番号を再認識させてください。

- 本体、レーザーともに十分に充電された充電式電池を入れる（または新しい乾電池を入れる）。
- 本体のWIRELESS ON/OFFスイッチをONにする。
- 本体の■ボタンを押したままREW・AMSボタンを押し、BATTランプがついたことを確認してからさらにレーザーの◀•REPEATボタンを押し。
- 本体のBATTランプが消え、レーザーに4桁の数字が表示されたらボタンを離す。

これでレーザーの番号が本体に認識されました。上記の手順を行ってもレーザーが使えない場合は、「保証書とアフターサービス」をご参照ください。

主な仕様

トラック方式	コンパクトカセットステレオ
周波数範囲（EIAJ） [*]	ワイヤレスレーザー使用、 ■ NRスイッチOFF時：30 - 15,000 Hz <p>コード付きヘッドホン使用、■ NRスイッチOFF時：20 - 18,000 Hz</p>
出力端子	ヘッドホンジャック（ステレオミニジャック）1個 <p>負荷インピーダンス　8 - 300</p>
実用最大出力	ワイヤレスレーザー：5 mW+5 mW（EIAJ 16　） <p>コード付きヘッドホン（別売り）：5 mW+5 mW（EIAJ 16　）</p>
電源	本体：DC 1.5 V <p>充電式電池（付属：NC-6WM、1.2 V、600 mAh、Ni-Cd）または単3形乾電池　1本</p> <p>ワイヤレスレーザー：DC 1.5 V <p>充電式電池（付属：NC-4WM、1.2 V、400mAh、Ni-Cd）または単4形乾電池　1本</p></p>

電池持続時間（EIAJ）
乾電池、充電式電池の持続時間については「電源」をご覧ください。
乾電池は、持続時間の長いアルカリ乾電池のご使用をおすすめします。

搬送周波数
CH1：左チャンネル　243.71MHz
　　　右チャンネル　243.25MHz
CH2：左チャンネル　244.86MHz
　　　右チャンネル　244.40MHz

最大外形寸法
質量
約79.0 × 112.2 × 24.7 mm（幅/高さ/奥行き）
本体　約160 g
ご使用時　約225 g（充電式電池 NC-6WM、テープ C-60HF含む）
ワイヤレスレーザー　約35 g
ご使用時　約55 g（充電式電池 NC-4WM含む）

別売りアクセサリ
充電式ニカド電池NC-6WM、NC-4WM、クリーニングテープ CHK-1、ステレオイヤレシーバー（ヘッドホン）MDR-E837V、MDR-E848V

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
^{*}EIAJ（日本電子機械工業会）規格による測定値です。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より、1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合が悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニ・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニ・サービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

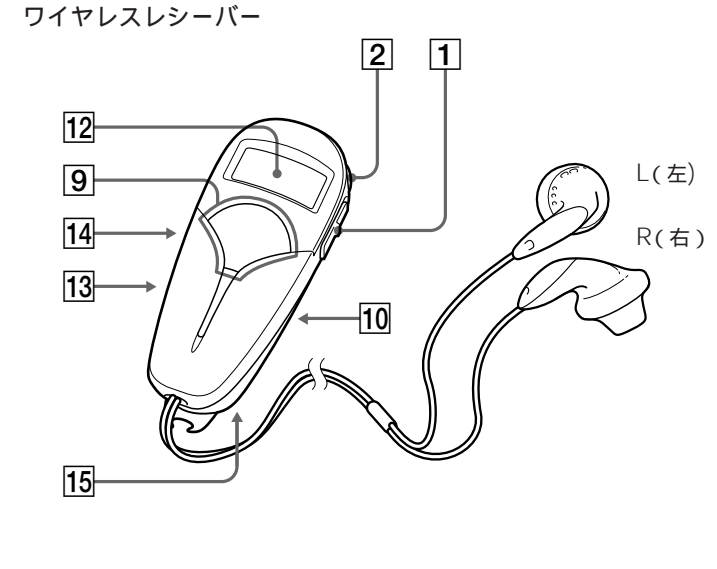
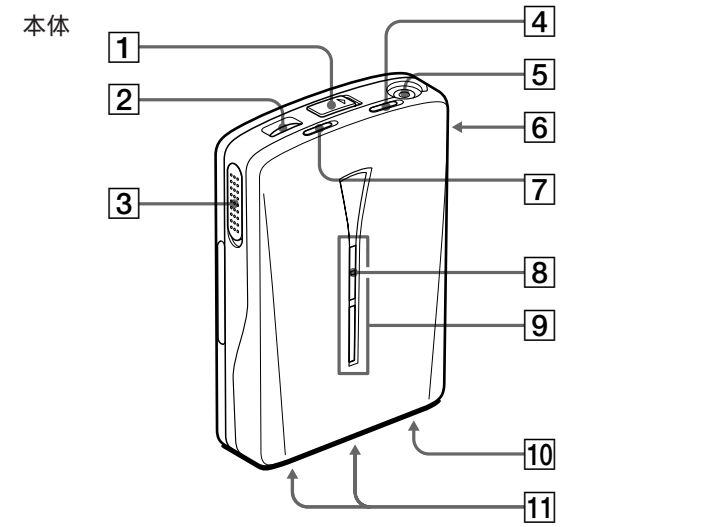
当社ではカセットプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。なお、補修用性能部品の保有期間は通商産業省の指導にもよるものです。

<div> <p>ワールドモデルをお買い上げのお客様へ</p> <p>海外での保証とアフターサービスについて</p> <p>・保証期間は、日本国内ではお買い上げ日より1年間、海外では90日です。</p> <p>・海外での修理やアフターサービスについてご不明な点は、保証書に記載の海外ソニーサービス特約店にお問い合わせください。</p> </div>	
<div> <p>ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35</p> </div>	
<div> <p>お問い合わせはお客さま相談センターへ</p> <p>東京(03)5448-3311　名古屋(052)232-2611　大阪(06)539-5111</p> </div>	

アフターサービスを依頼するときは

必ず本体とレーザーの両方をお持ちください。

各部のなまえ



 ^{ホルド}	1 HOLD（誤操作防止）スイッチ
 ^{ボリューム}	2 VOL（音量調節）つまみ
 ^{オープン}	3 OPEN（カセットぶた開け）つまみ
 ^{ワイヤレス}	4 WIRELESS ON/OFF（ワイヤレス入/切）スイッチ
 ^{ヘッドホン}	5 ☞ （ヘッドホン）ジャック
 ^{テープ走行方法切り換え} ^{BL SKIP} ^{スイッチ}	6 ⏮ （テープ走行方法切り換え）BL SKIPスイッチ
 ^{NR} ^{スイッチ}	7 ■ （DOLBY）NRスイッチ
 ^{BATT} ^{（電池残量表示）ランプ}	8 BATT（電池残量表示）ランプ
 ^{テープ} ^{操作ボタン}	9 テープ操作ボタン
 ^{本体}	10 本体：充電式電池入れ
 ^{ワイヤレスレーザー}	ワイヤレスレーザー：乾電池、充電式電池入れ
 ^{乾電池ケース} ^{用接点}	11 乾電池ケース用接点
 ^{液晶} ^{表示窓}	12 液晶表示窓
 ^{CH} ^{（チャンネル切り換え）ボタン}	13 CH（チャンネル切り換え）ボタン
 ^{SOUND} ^{AVLS} ^{ボタン}	14 SOUND/AVLSボタン
 ^{クリップ}	15 クリップ

<div> <p>ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35</p> </div>	
<div> <p>お問い合わせはお客さま相談センターへ</p> <p>東京(03)5448-3311　名古屋(052)232-2611　大阪(06)539-5111</p> </div>	

<div> <p>ソニー株式会社　〒141 東京都品川区北品川6-7-35</p> </div>	
<div> <p>お問い合わせはお客さま相談センターへ</p> <p>東京(03)5448-3311　名古屋(052)232-2611　大阪(06)539-5111</p> </div>	

<div> <p>English</p> </div>	
<div> <p>English</p> </div>	

▶ Getting Started

Choosing a Power Source

Dry Batteries

Main unit
Attach the battery case to the Walkman, and then insert one R6 (size AA) battery (supplied) with the correct polarity.

Wireless receiver
Open the battery compartment lid of the wireless receiver and then insert one R03 (size AAA) battery (supplied) with the correct polarity.

Note

- Do not charge a dry battery.

Rechargeable Batteries

- Insert the supplied rechargeable batteries (NC-6WM for the main unit and NC-4WM for the wireless receiver) to the supplied charger with correct polarity.

- Plug in the charger to the mains. When charging both batteries simultaneously, full-charging takes about 3 hours. When charging one battery at a time, it takes about 2 hours.

- For the main unit: Open the rechargeable battery compartment lid at the bottom of the Walkman and insert the charged NC-6WM battery.

For the wireless receiver:
Open the battery compartment lid of the wireless receiver and insert the charged NC-4WM battery.

You can charge the battery about 300 times.

Notes

- Do not tear off the film on the rechargeable battery.
- Remove the charger unit from the wall outlet as soon as possible after the rechargeable batteries have been charged. Overcharging may damage the rechargeable battery.
- Only the NC-6WM and NC-4WM can be used with the supplied battery charger.
- Be sure not to short-circuit the battery. When you carry it with you, use the supplied carrying case. When you are not using the carrying case, do not carry it with other metallic objects such as keys in your pocket.

When to replace/charge the battery

When the battery weakens in the main unit, the BATT indicator dims and "⦿" (MAIN) will flash in the display of the wireless receiver. When the battery weakens in the receiver, "⦿" (RECEIVER) will flash in the display. Replace the dry battery and/or charge the rechargeable battery.

To	Press
change the tape transport direction	◀ • REPEAT (during playback)
stop playback	■
fast-forward the tape	FF•AMS (in the stop mode)
rewind the tape rapidly	REW•AMS (in the stop mode)
repeat the current track (Repeat Single Track function)	◀ • REPEAT (2 seconds or more during playback)
	<i>To stop a single repeat, press it again.</i>

listen to the next track/succeeding tracks from the beginning (AMS* function)

listen to the current track/previous tracks from the beginning (AMS function)

listen to the next track/succeeding tracks from the beginning (AMS* function)

listen to the other side of the cassette (Skip reverse function)

listen to the currently playing side of the cassette from the beginning (Auto Rewind play function)

^{*} Automatic Music Sensor

To select a tape playing mode
Use the ⏮ (playback mode)•BL SKIP (blank skip) selector as follows:

To	Set the selector to
play back both sides repeatedly, on (fast-forward the tape to the next track if there is a blank space of longer than 12 seconds)	↔ •ON ("SKIP" will appear in the display window during the BL SKIP function.)
play back both sides once from the side facing the tape holder, switch the BL SKIP off	⏮ •OFF

When you are listening to a tape recorded with the Dolby®B NR system
Set the ■ NR (Dolby noise reduction) selector to ON.
^{*} Dolby noise reduction manufactured under license from Dolby Laboratories Licensing Corporation.
[†] "DOLBY" and the double-D symbol ■ are trademarks of Dolby Laboratories Licensing Corporation.

To conserve battery power
If a tape stops playing, the power of wireless receiver turns off automatically after 5 seconds.

To avoid noise interference
To avoid unnecessary noise interference with other Walkmans, press CH (channel) button on the wireless receiver for 2 seconds or longer to change the channel.

To cancel the AVLS function
Press and hold SOUND/AVLS for two seconds or more again.

Notes

- If the sound is distorted when you listen to the bass-boosted sound with the AVLS function, turn down the volume.
- The setting is stored as long as the battery of the receiver is not replaced.

After use

Wrap the cord around the receiver as follows:

- Set the earphones to fit the dent on the upper part of the clip.
- Hook the cord on the hook at the lower part of the clip and wrap the cord around the receiver.
- Set the end of the cord to fit inside the lobe at the bottom of the receiver.

When you are not listening to a tape

Set WIRELESS ON/OFF to OFF.

Using the optional earphones or headphones

Plug in the optional earphones/headphones to the ☞ jack.

Notes

- You cannot listen to or operate the Walkman with the wireless receiver when the optional earphones/headphones are connected to the ☞ jack.
- You cannot operate the SOUND or the AVLS function from the optional earphones/headphones.

Using Other Functions

Locking the controls—Hold function
Slide the HOLD switch in the direction of the arrow to lock the controls.

Emphasizing bass sound—SOUND function

To listen to the emphasized deep bass sound, press the SOUND/AVLS button on the receiver repeatedly to select the mode you want.

Each time you press the button, the mode changes. The selected mode is displayed in the window of the receiver.

MB(MEGA BASS): emphasizes bass sound
GRV(GROOVE): emphasizes deeper bass sound
No message: off(normal)

Notes

- If the sound is distorted with the mode "GRV", select the mode "MB" or no message.
- The setting is stored as long as the battery of the receiver is not replaced.

Protecting your hearing—AVLS (Automatic Volume Limiter System) function

To limit the maximum volume, press and hold the SOUND/AVLS button on the receiver for two seconds or more. "☺" appears in the display.

To cancel the AVLS function
Press and hold SOUND/AVLS for two seconds or more again.

Notes

- If the sound is distorted when you listen to the bass-boosted sound with the AVLS function, turn down the volume.
- The setting is stored as long as the battery of the receiver is not replaced.